

平成29年度全国学力・学習状況調査の結果について

■調査期日 平成29年4月18日(火)

義務教育課

■実施教科 国語A(知識)、国語B(活用)、算数・数学A(知識)、算数・数学B(活用)

■実施学校数・児童生徒数(※公立学校)

	小学校		中学校	
	学校数	児童数	学校数	生徒数
大分県	257校	9,286人	129校	9,308人
全 国	19,456校	999,723人	9,539校	982,811人

(1) 小学校(第6学年)の平均正答率※数値は公立学校のみ ※後日実施は含まない

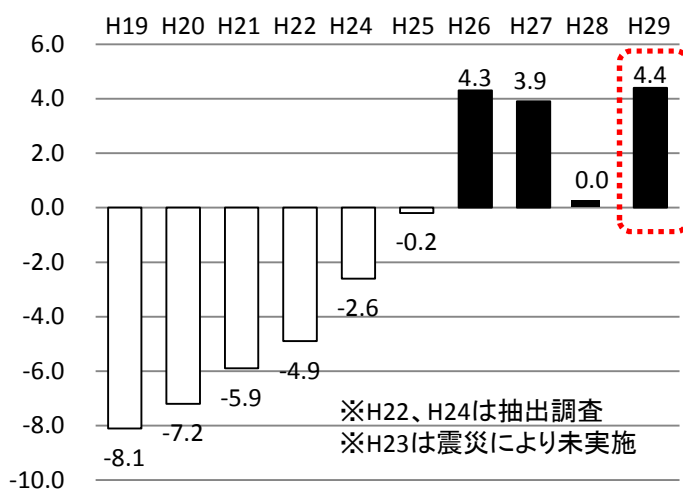
教科・区分	国語A(知識)	国語B(活用)	算数A(知識)	算数B(活用)
大分県	76	58	81	46
全 国	74.8	57.5	78.6	45.9

(2) 中学校(第3学年)の平均正答率※数値は公立学校のみ ※後日実施は含まない

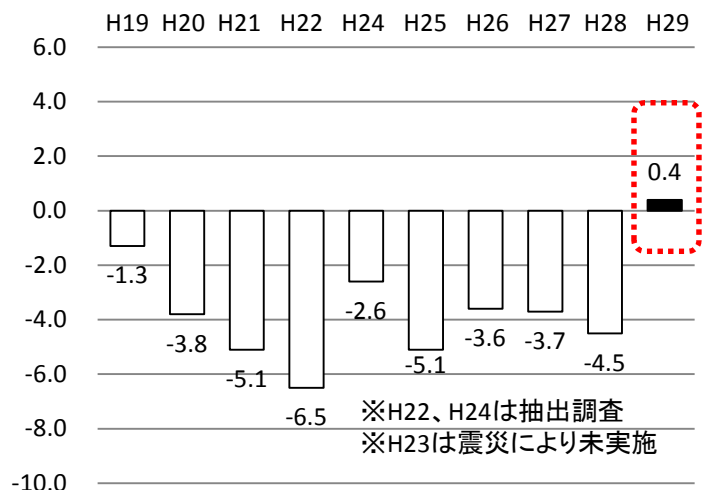
教科・区分	国語A(知識)	国語B(活用)	数学A(知識)	数学B(活用)
大分県	79	73	64	47
全 国	77.4	72.2	64.6	48.1

(3) 学力の経年変化(大分県と全国との平均正答率の差)

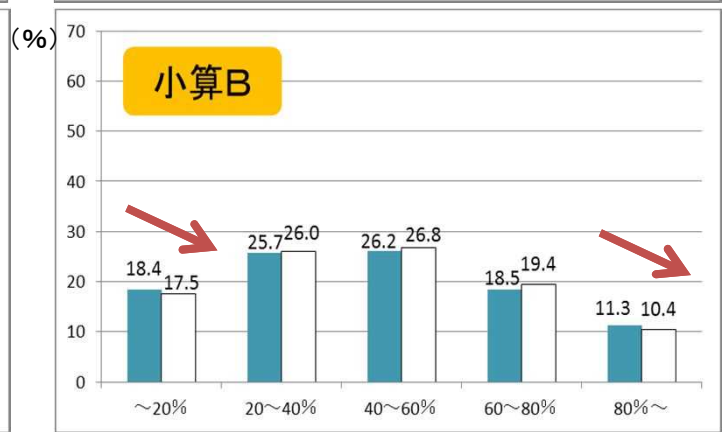
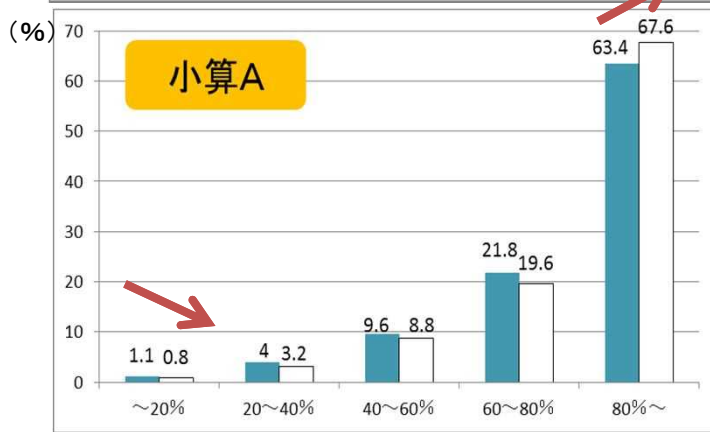
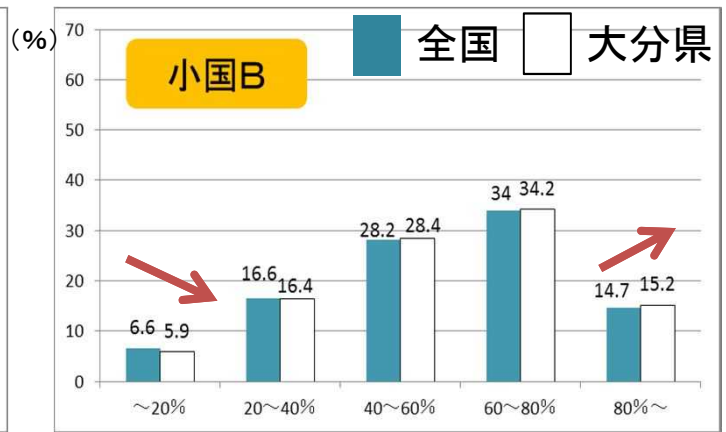
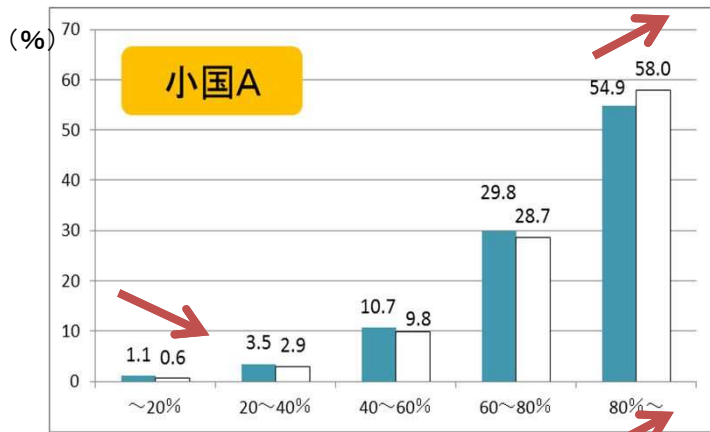
小学校(第6学年)



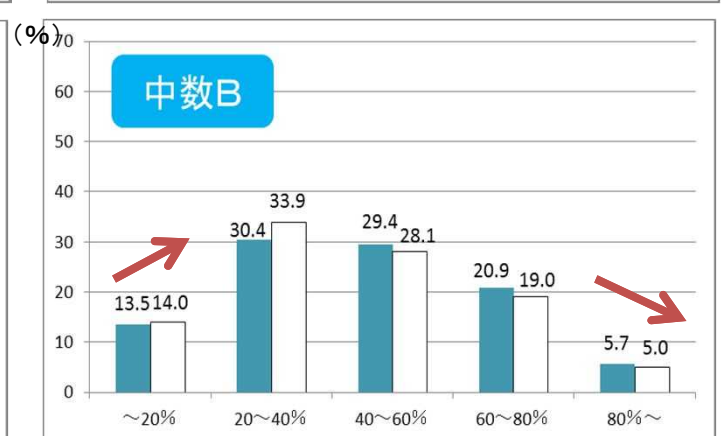
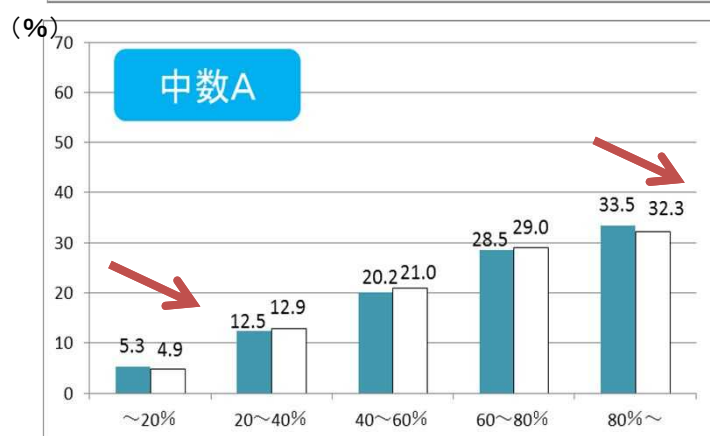
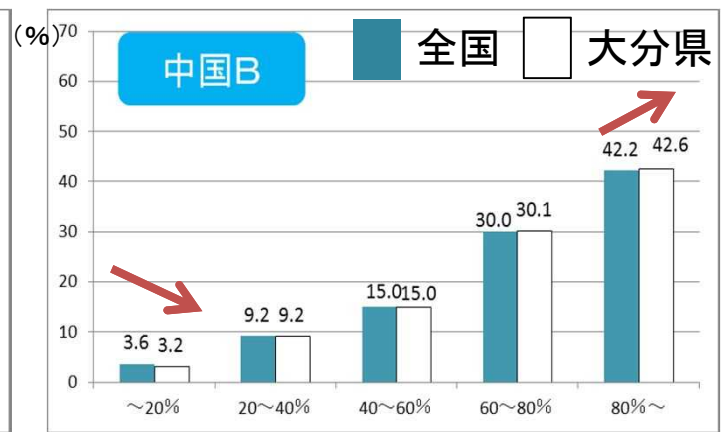
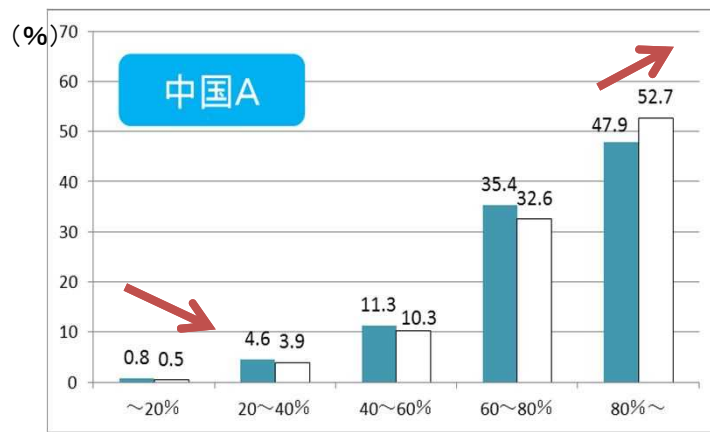
中学校(第3学年)



平成29年度全国学力・学習状況調査 平均正答率の分布一覽(小学校)



平成29年度全国学力・学習状況調査 平均正答率の分布一覽(中学校)



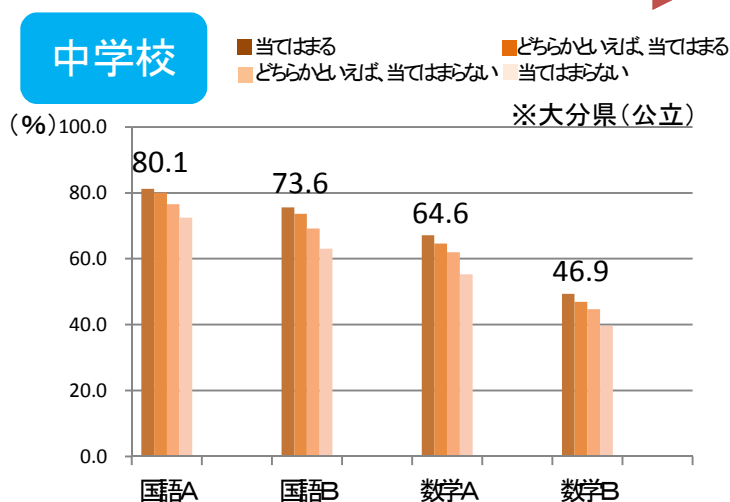
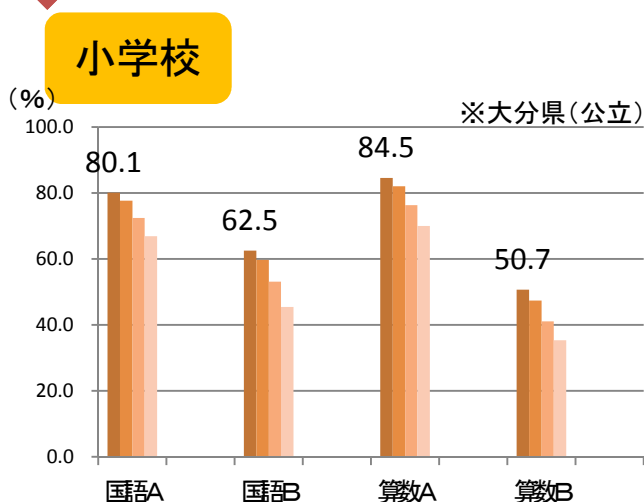
児童生徒質問紙調査の結果

◆「新大分スタンダード」に関連する事項の回答状況

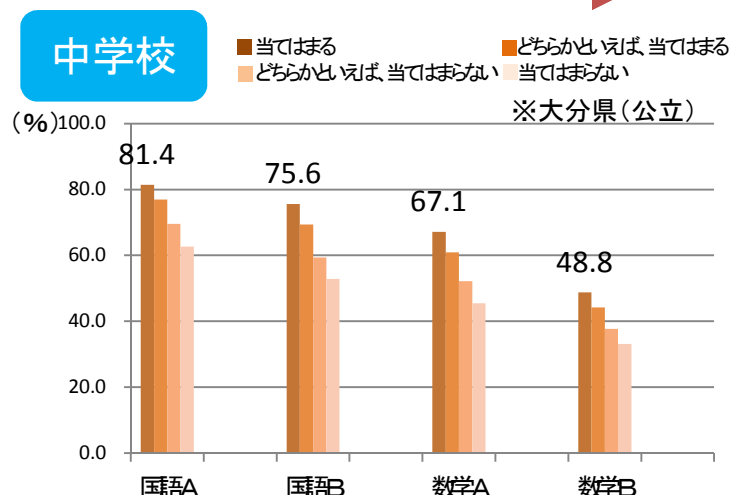
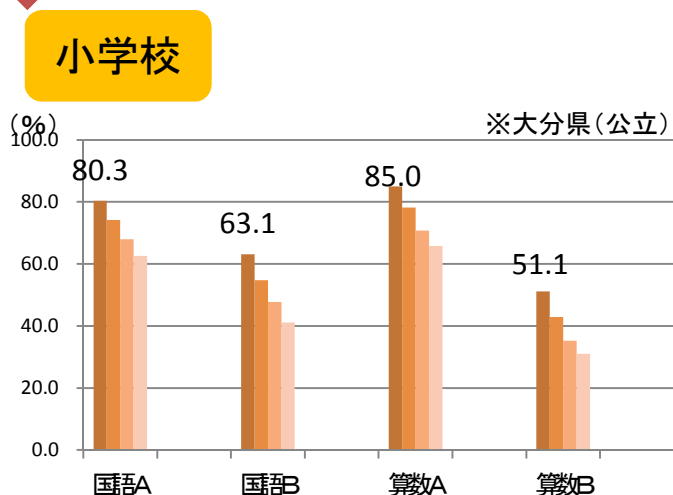
※数値は「当てはまる」「よく行った」等、最も肯定的な回答の数値
 ※着色は全国平均を上回った項目

質問番号	質問事項		児童質問紙	生徒質問紙
57	話し合う活動をよく行っていたと思いますか	大分県	45.1	42.5
		全国	46.9	38.9
58	自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでい	大分県	26.3	25.2
		全国	29.5	23.7
61	授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか	大分県	53.4	64.8
		全国	58.6	53.1
62	授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか	大分県	37.2	30.6
		全国	40.3	25.3

(58)自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか



(61)授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか



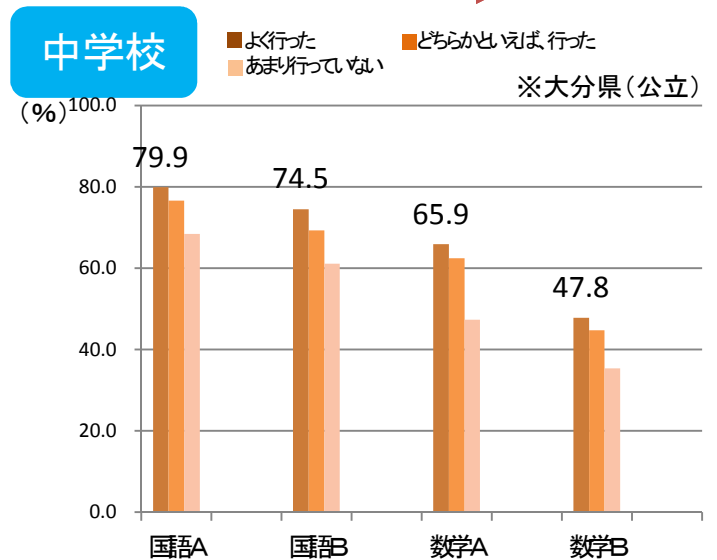
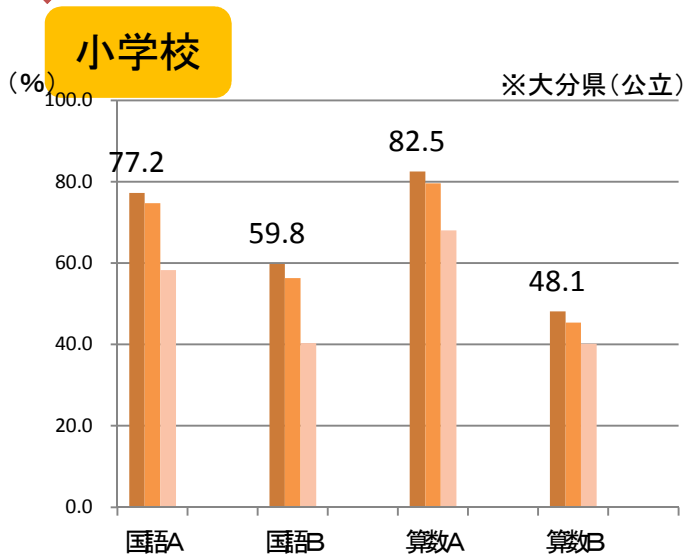
学校質問紙調査の結果

◆「新大分スタンダード」に関連する事項の回答状況

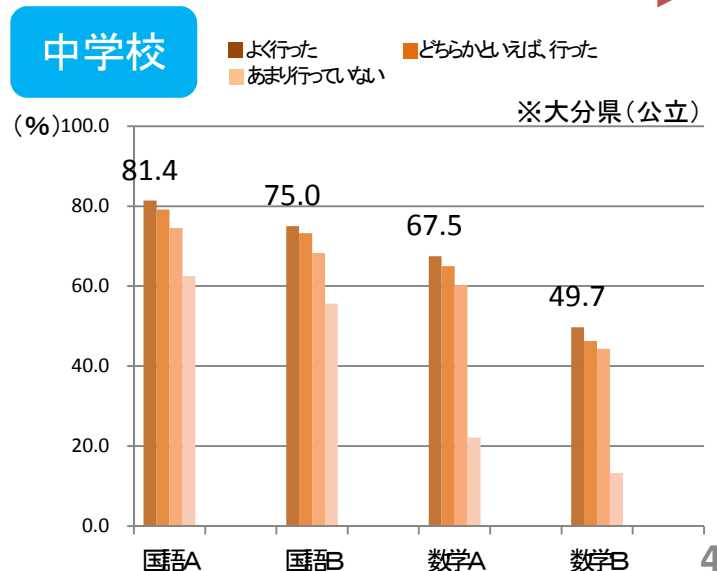
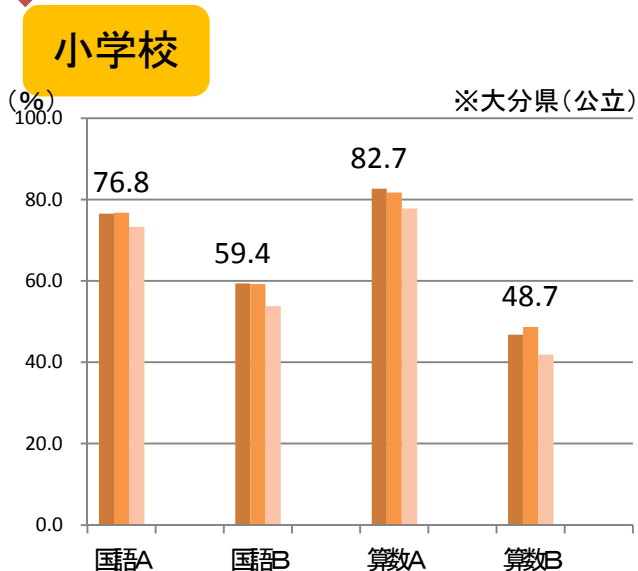
※数値は「当てはまる」「よく行った」等、最も肯定的な回答の数値
 ※着色は全国平均を上回った項目

質問番号	質問事項		小学校 質問紙	中学校 質問紙
(33)	授業の中で目標（めあて・ねらい）を示す活動を計画的に取り 入れましたか	大分県	86.0	79.1
		全 国	74.2	65.4
(34)	授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れ ましたか	大分県	65.4	59.7
		全 国	52.5	43.2
(39)	学級やグループで話し合う活動を授業などで行いましたか	大分県	67.7	62.8
		全 国	57.1	45.1
(41)	学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、 まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか	大分県	30.4	20.9
		全 国	22.4	18.8

(39)学級やグループで話し合う活動を授業などで行いましたか



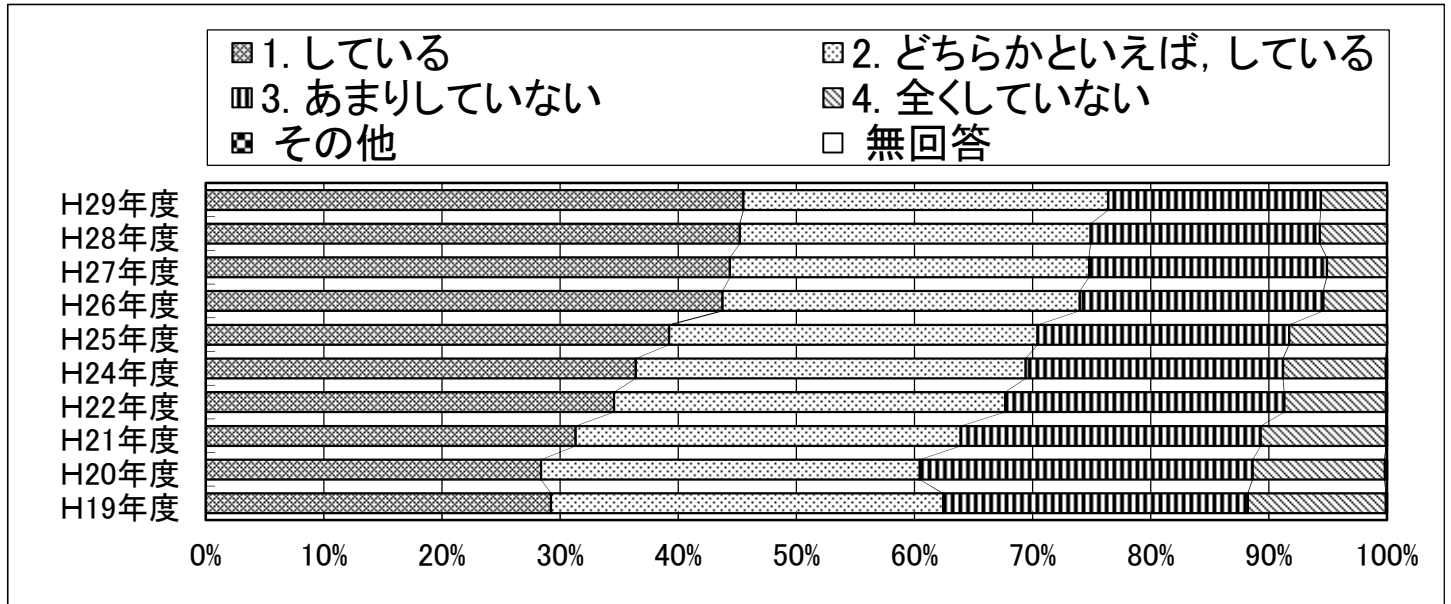
(41)学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか



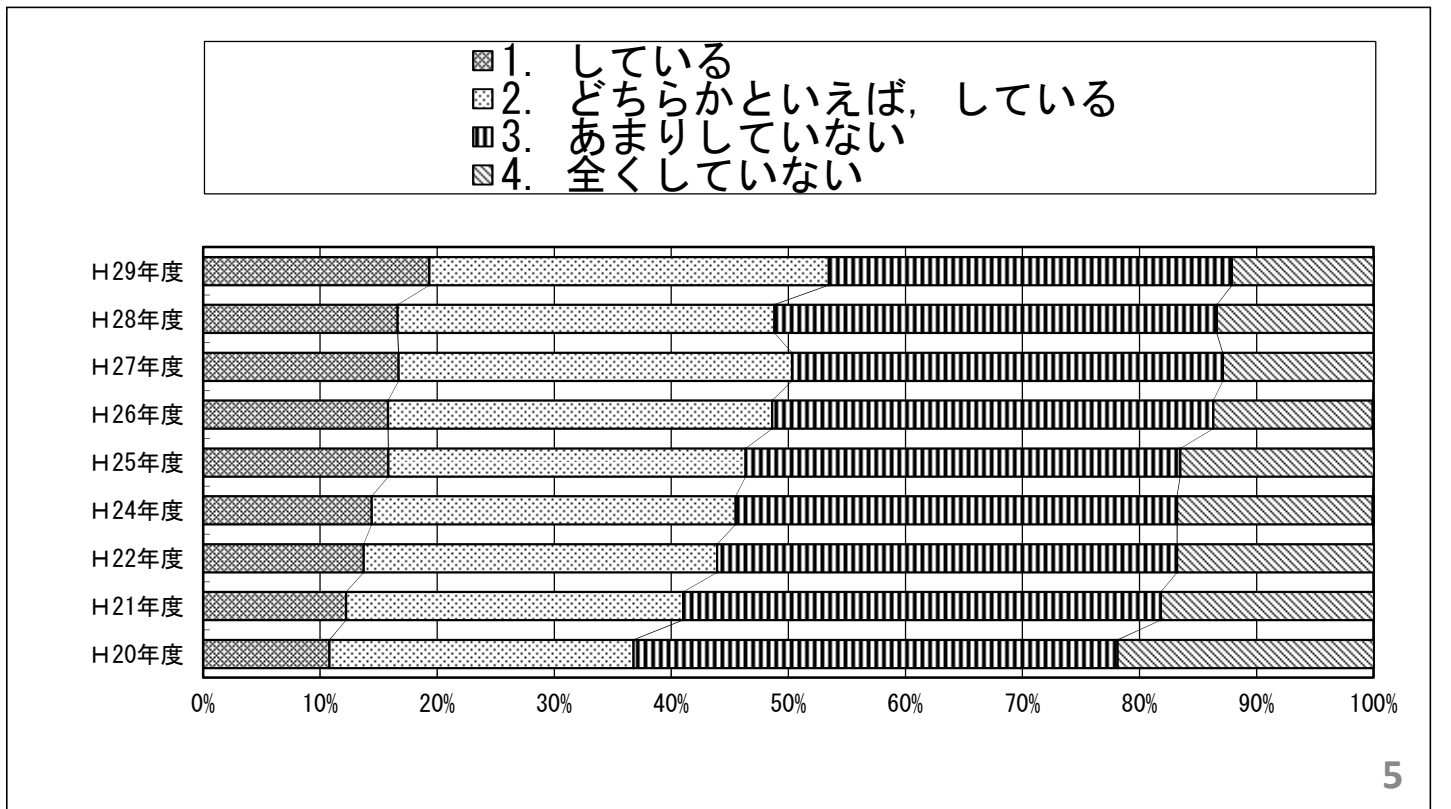
全国学力・学習状況調査から分かる中学生の行動変容①

※大分県(公立)

(1) 家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか



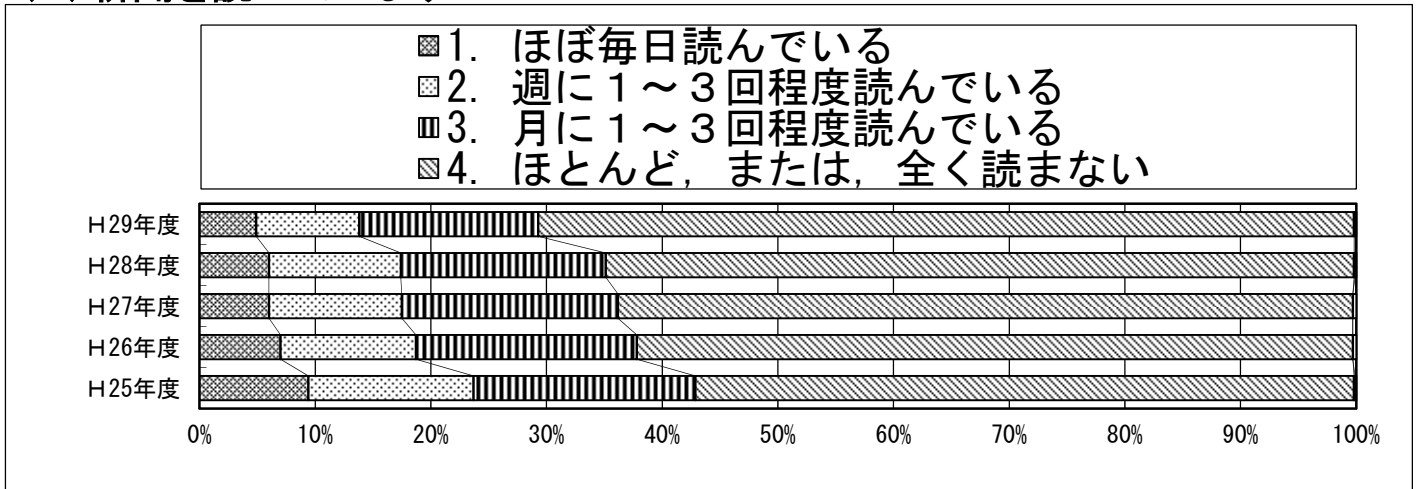
(2) 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか



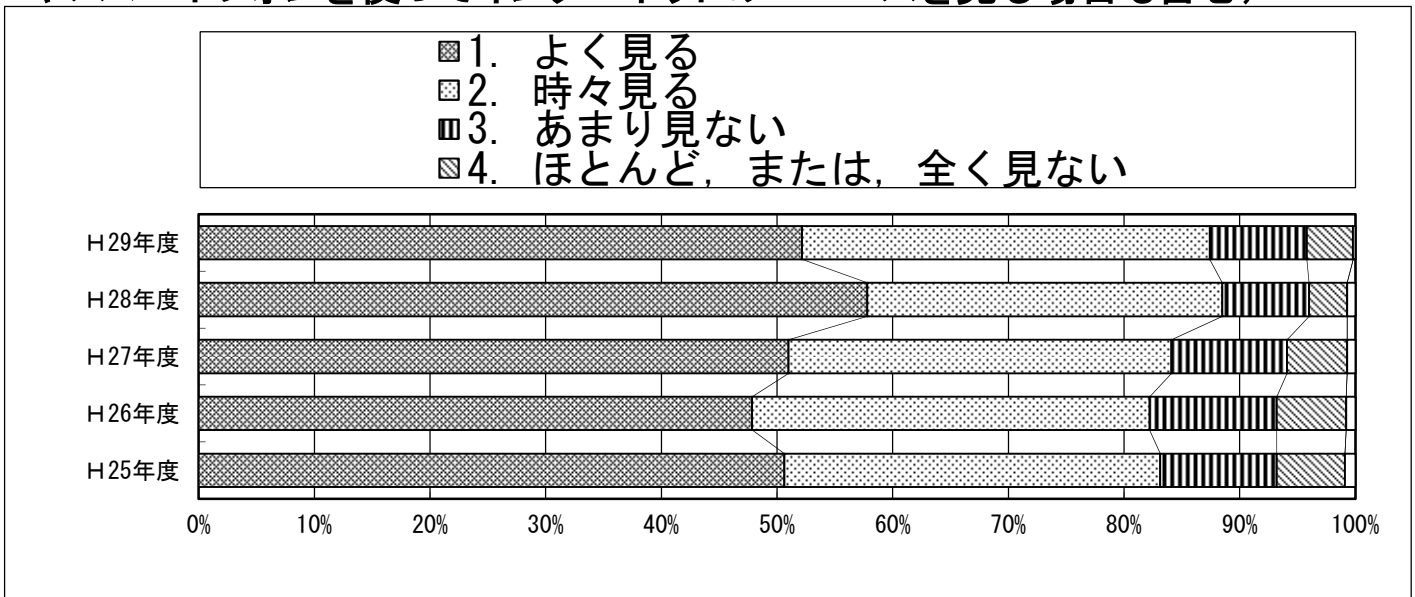
全国学力・学習状況調査から分かる中学生の行動変容②

※大分県(公立)

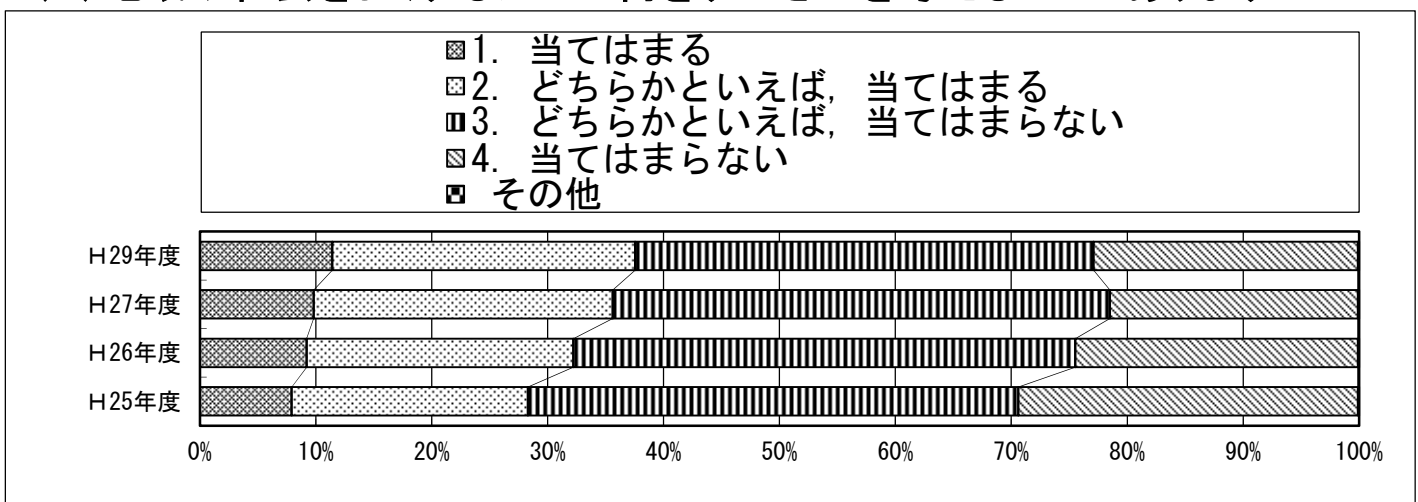
(3)新聞を読んでいますか



(4)テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか(携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む)



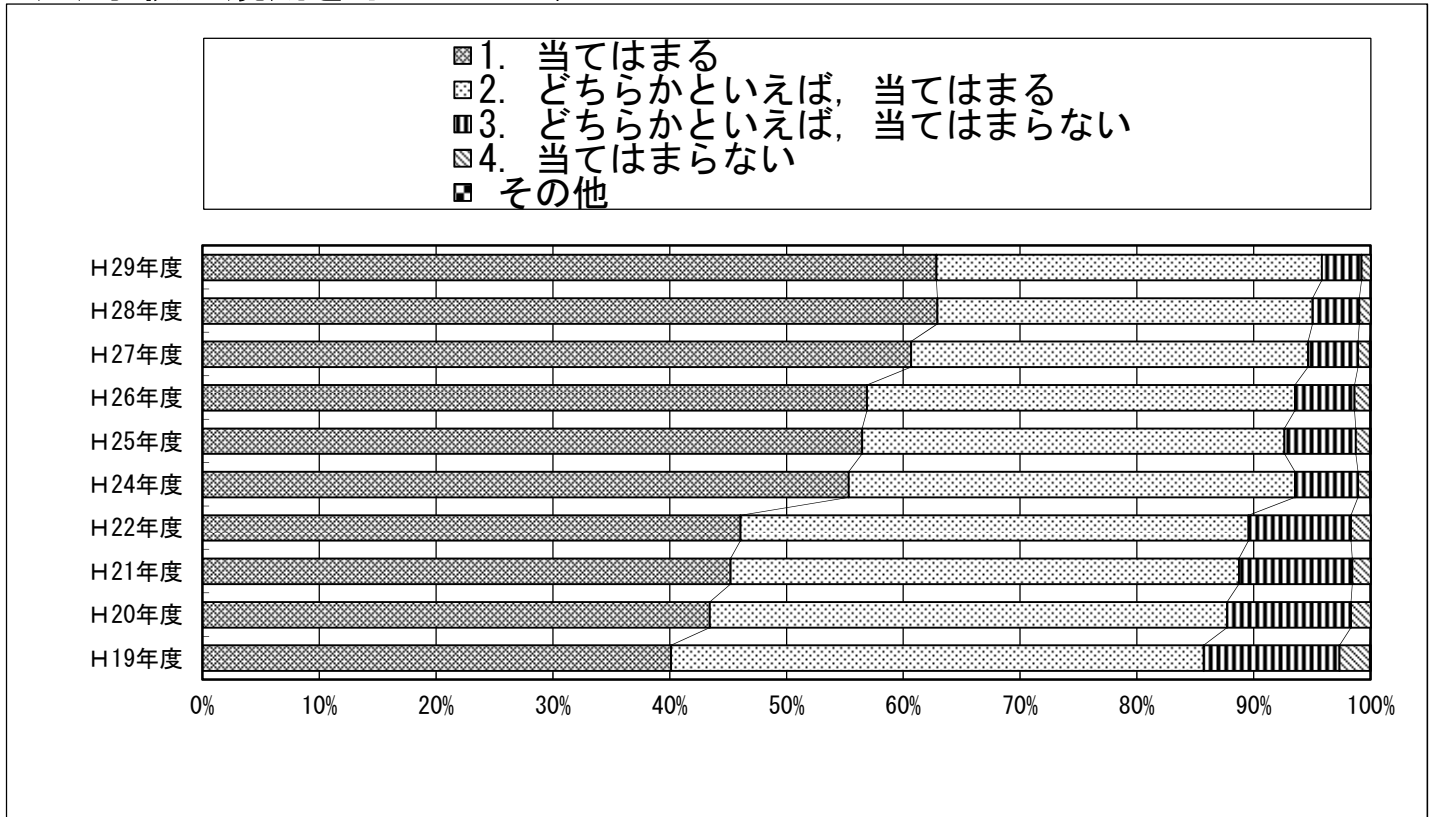
(5)地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか



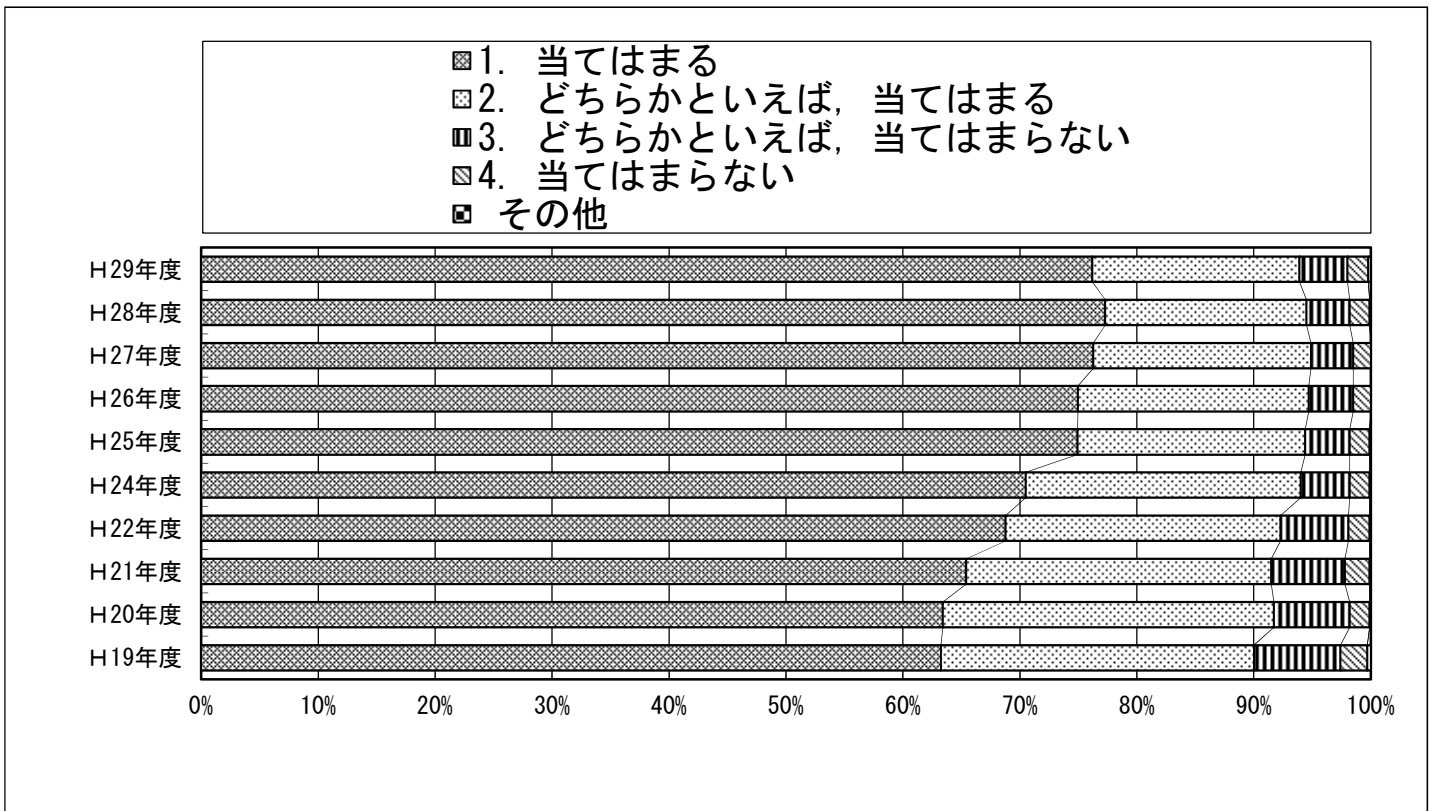
全国学力・学習状況調査から分かる中学生の行動変容③

※大分県(公立)

(6) 学校の規則を守っていますか



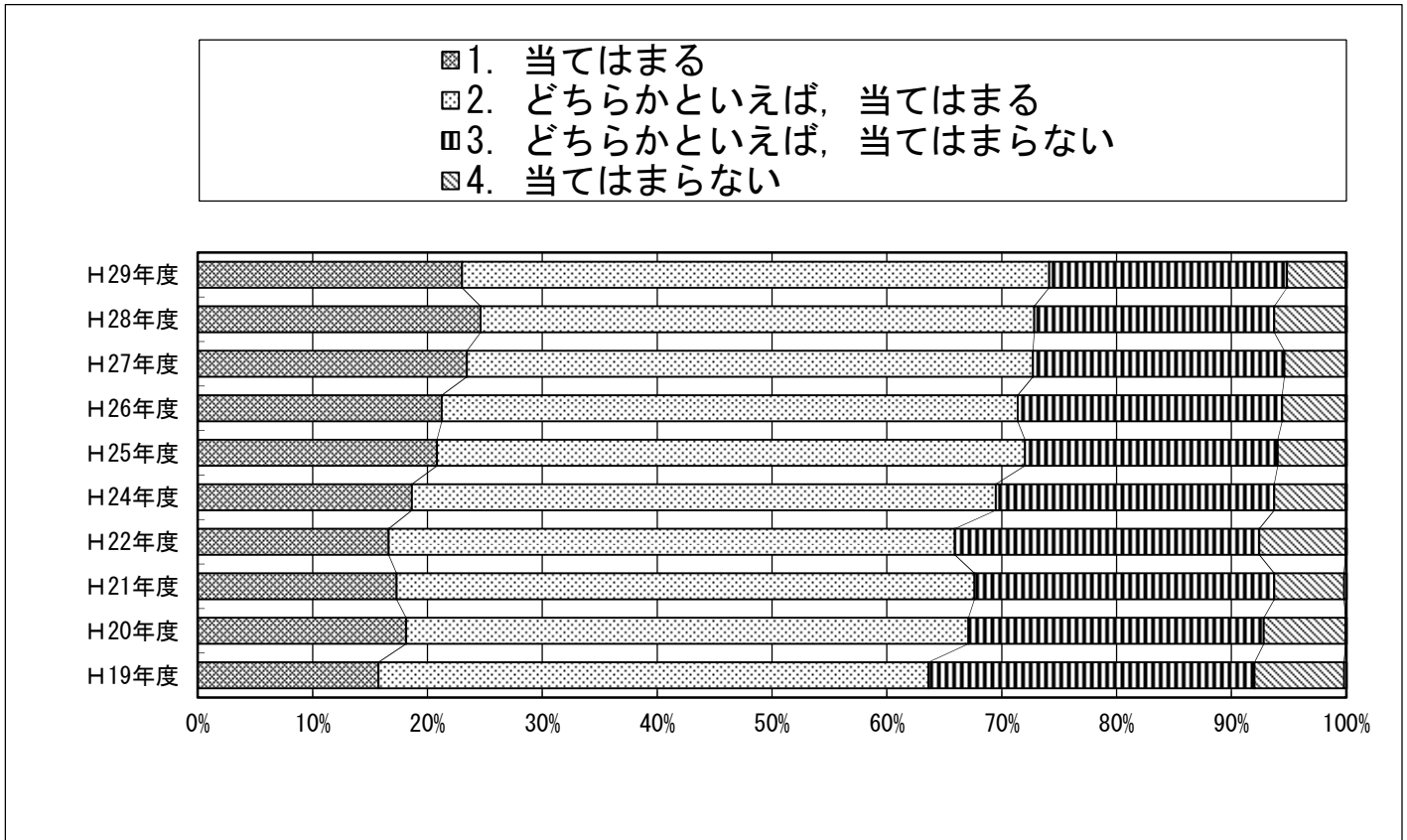
(7) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いませんか



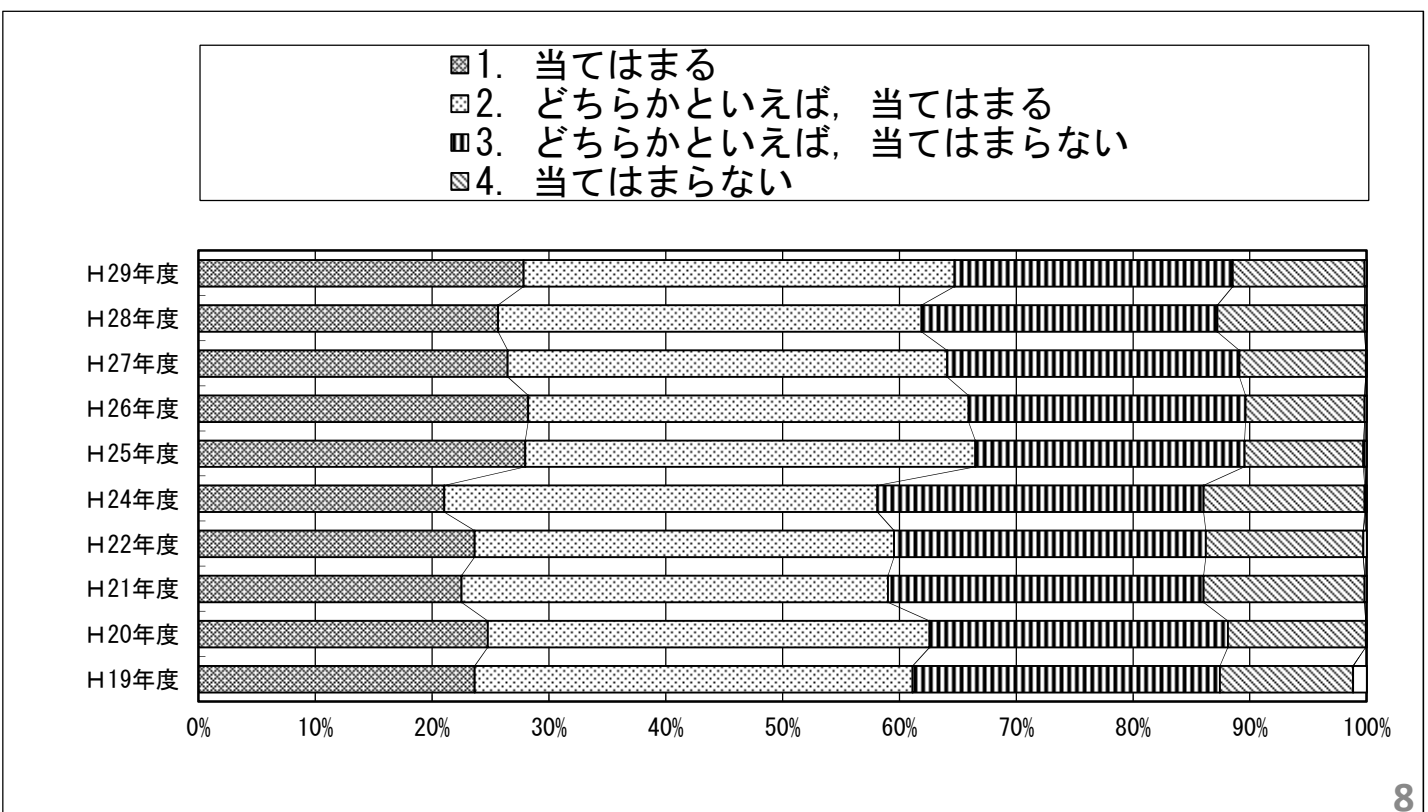
全国学力・学習状況調査から分かる中学生の行動変容④

※大分県(公立)

(11) 国語の授業の内容はよく分かりますか

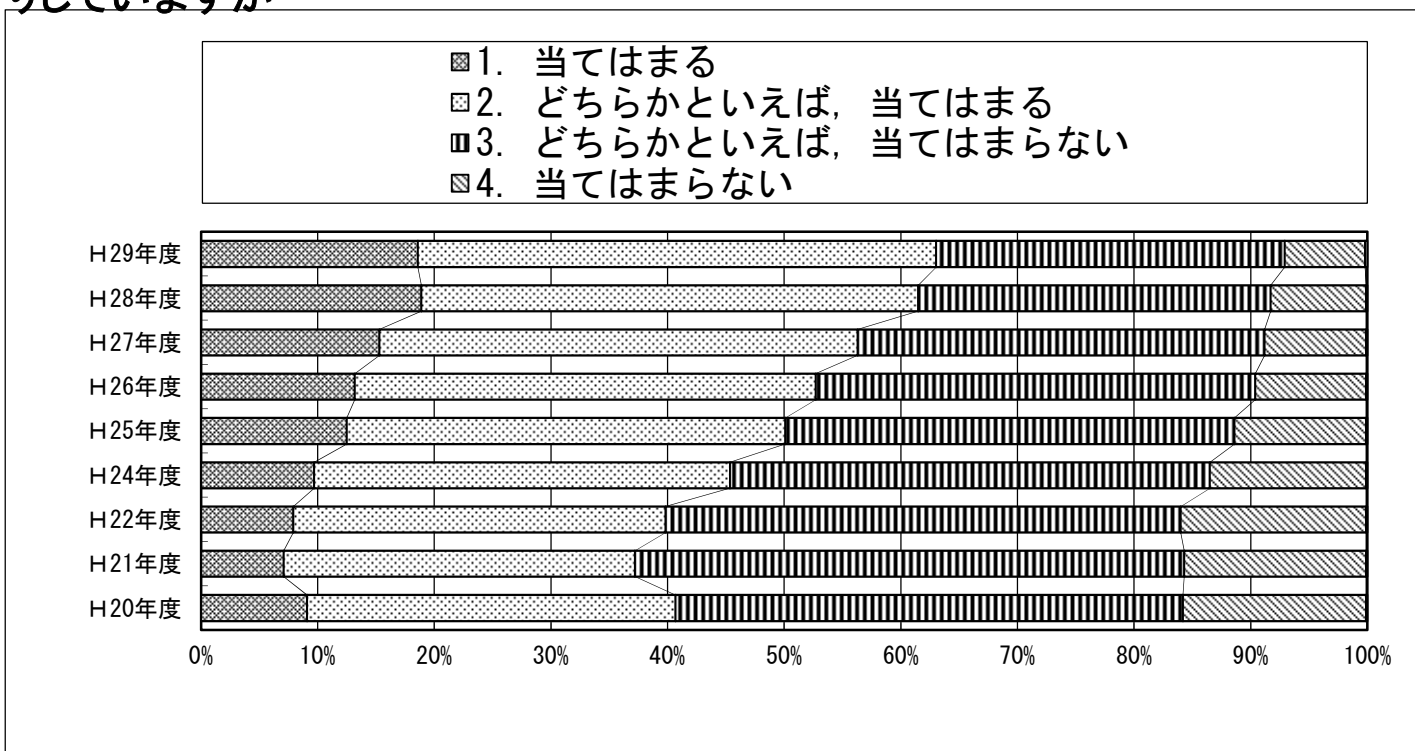


(12) 数学の授業の内容はよく分かりますか

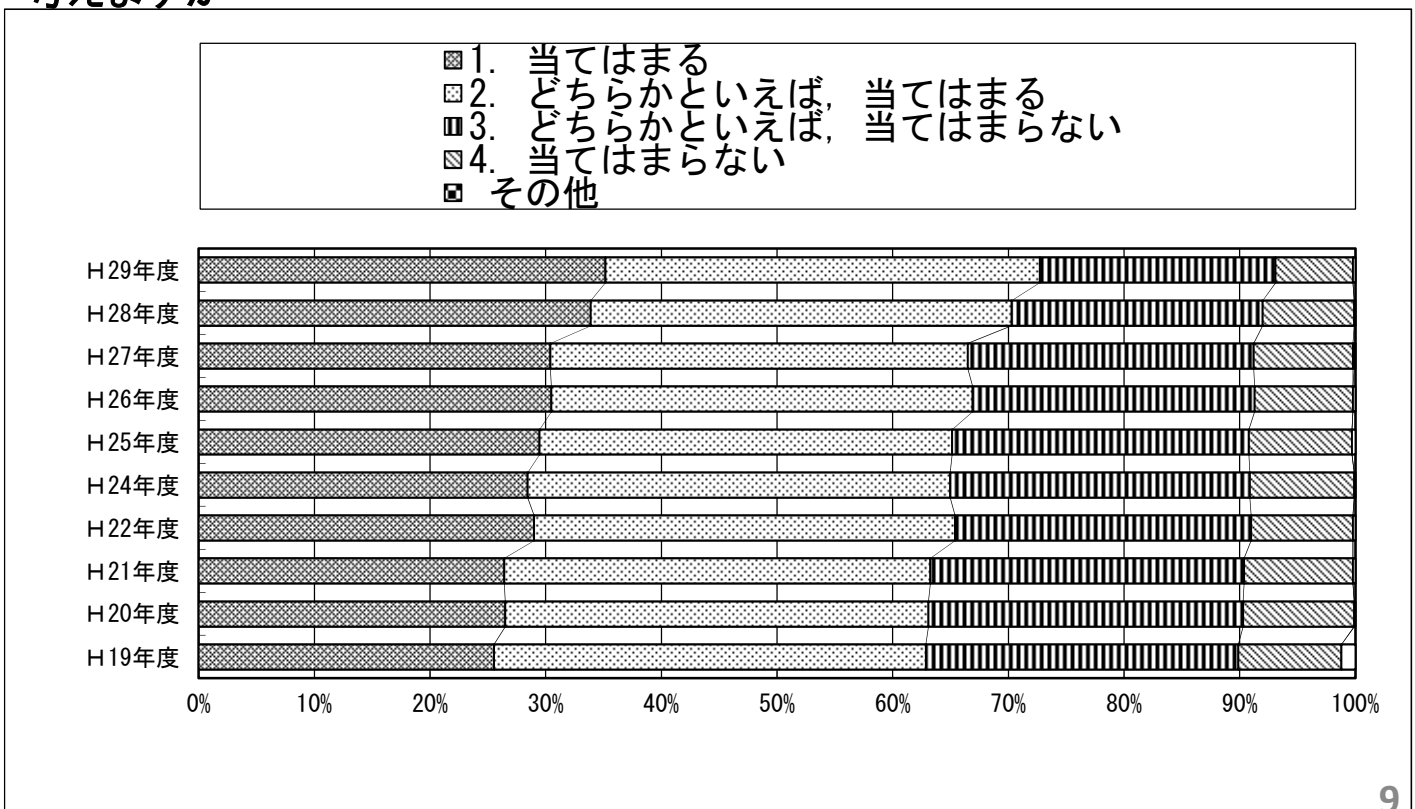


全国学力・学習状況調査から分かる中学生の行動変容⑤

(13) 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、^{※大分県(公立)}書いたりしていますか



(14) 数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか



分析と今後の方策

分析

■小・中学校共に、国語科の授業改善が進んでいる。

①国語科の各单元において課題解決的な言語活動を設定した指導が浸透している。

→【県の取組】学力向上支援教員の配置、教科指導力向上協議会の開催、指導資料（1集・2集）の作成

②昨年の全国学力調査の反省をうけて、知識・技能の定着を図る取組（帯時間で漢字や語句の小テスト、家庭学習の課題とするなど）が広く行われるようになった。

→【県の取組】生徒自身に考えさせることと教師が教えるべきこと（漢字や語句・文法に関する事項）をきちんと整理して、指導を行うように県下の小中学校に助言を行った。

■小・中学校共に、A問題(知識)よりB問題(活用)に課題が見られる。

特に、中学校数学のB問題(活用)は、

①記述式の調査問題に対する正答率が全国正答率を下回っている。(5問中4問)

②評価の観点「数学的な見方や考え方」に関する調査問題の正答率が全国正答率を下回っている。(10問中6問)

などが課題であり、アクティブ・ラーニングを通じた力の定着が求められる。

今後の方策

I (小・中)「新大分スタンダード」に基づく授業の質の向上

成果が出ていない学校に対して、習熟度別指導の在り方や個に応じた指導を徹底。

II (中)「中学校学力向上対策3つの提言」(H28.2～)の取組の更なる強化

①学校の組織的な授業改善による「新大分スタンダード」の徹底

②教科指導力向上の仕組みの構築 ③生徒と共に創る授業の推進

III (中)「数学指導力強化巡回指導」(H29.4～)による中学校数学科指導の徹底

義務教育課の数学担当指導主事が全中学校・全数学教員（大分市を除く）を対象に、年間2回以上の巡回指導を実施。（8/31現在65校、138人指導）